

学生から社会人まで誰にでも簡単に実践できる方法です。

この本で英語を学習すれば、「3つのメソッド」を身につけられるという効果が得られるのみならず、私自身の実体験に基づいた「デジタルワーカーが仕事の現場で使う“ナマ”の英語」に触れることができます。各レッスンで学習を深めていくうちに、実際に仕事の現場で英語を使いこなせる手応えを徐々に掴んでいただけることでしょう。そして、かつて著者がそうであったように、英語を勉強する前の自分と比べて、格段に味わい深い人生へと、読者のみなさんが自分自身を導いていかれることを願ってやみません。

最後に、本書を執筆するにあたって多大なアドバイスをいただき、また本書コラム執筆の際アイデアを引用させていただいた高島康司先生、本書のイラストを描いてくれた妻の知美、そして、英文の共著者として協力していただいたジョン・レイナーさん、そしてネイティブチェックや英文の音声版のアフレコなどで協力してくれた株式会社 A&S のスタッフ全員に感謝の意を表します。

長澤大輔

この本の目的と適切なトレーニング

11

- 1 なぜ英語を学びたいか 14
- 2 英語がうまくなりたい!そんなあなたのために知って欲しい3つのこと 14
- 3 本書で学ぶ3つのメソッドについて 15
- 4 初級者向けの学習方法 17

Lesson 1

自己紹介

26

- 1 基本的な自己紹介 26
- 2 グループに自己紹介するとき 28
- 3 オフィスでの挨拶 30
- 4 前置詞について 32
- 5 ウェブデザイナーについてさらに学ぶ 34

Lesson 2

オフィスにて

36

- 1 無線ネットワークのセットアップ 36
- 2 プリンターに接続する 38
- 3 書類を印刷する 40
- 4 助動詞について 42
- 5 デジタル著作権管理 44

Lesson 3

パソコンの操作

46

- 1 キーボードの操作についての質問 46
- 2 キーボードの記号の読み方 48
- 3 ウェブで検索する 50
- 4 助動詞“can”について 54

5 顧客サポートサービス 56

Lesson 4

パソコンのトラブル

58

- 1 ファイル操作のトラブル対処 58
- 2 アプリケーションのトラブル 60
- 3 強制終了と再起動 62
- 4 動詞の現在進行形と動詞-ing 64
- 5 クレーム対応のゴールデンルール (1) 68

Lesson 5

グラフィックデザイン (1)

70

- 1 画像の修整 70
- 2 画像を回転させる 72
- 3 画像のサイズを調整する 74
- 4 助動詞による丁寧な依頼表現 76
- 5 ウェブサイト用に正しい色を使う 78

Lesson 6

ウェブ制作

80

- 1 ウェブサイトを開設する 80
- 2 SFTP の設定 82
- 3 ファイルをちょっと見てみる 84
- 4 WH 疑問文の使い方 86
- 5 検索エンジン最適化 (SEO) 88

Lesson 7

オフィス系ソフトウェアの操作

90

- 1 テキスト文書について 90
- 2 文書の見栄えをよくする 92
- 3 表計算ソフトの基本操作 94
- 4 代名詞 this、that、it の使い方 96
- 5 アップル iPad vs マイクロソフト Surface 98

Lesson 8

社内ミーティング

100

- 1 プロジェクトの社内向け説明 100
- 2 プロジェクトでの役割を決める 102
- 3 短時間ミーティング 104
- 4 現在形と現在進行形の違い 106
- 5 ウェブ解析データについての社内ミーティング (1) 110

Lesson 9

クライアントとの打ち合わせ

112

- 1 クライアントとの電話での会話 112
- 2 会議を設定する 114
- 3 クライアントのニーズを理解する 116
- 4 look と see の違いについて 118
- 5 オンラインキャンペーンについてのクライアントとのミーティング 120

Lesson 10

Eメールを使ったコミュニケーション

122

- 1 Eメールでサービス内容を紹介する 122
- 2 Eメール文章の書き始め 126
- 3 請求書を送付する 128
- 4 倒置文について 130
- 5 効果的な eメールマーケティングを進める 132

Lesson 11

ソーシャルメディアを使ったコミュニケーション

134

- 1 Twitter のユーザーネームを聞く 134
- 2 ソーシャルネットワーク、あれこれ 136
- 3 ソーシャルメディアで使われる略語 138
- 4 英語上達のための3つのコツ 140
- 5 “Yahoo! Answers” でよい評判を構築する 142

Lesson 12**交流会でのふれあい**

144

- 1 交流会イベントに参加する 144
- 2 交流会で自己紹介する 146
- 3 交流会における重要フレーズ 148
- 4 「なぜそう思うか」を説明する 150
- 5 クリエイターのグループに参加する 152

Lesson 13**電子メール**

154

- 1 電子メールを設定する (1) 154
- 2 電子メールを設定する (2) 156
- 3 Eメールとブラウジングの習慣について 158
- 4 「ホームページ」の英語表現について 160
- 5 eメールマーケティング 162

Lesson 14**パソコンでの作業**

164

- 1 キーボードショートカットを使う 164
- 2 Mac PC を操作する 166
- 3 PC 操作の指示 168
- 4 前置詞の in について 170
- 5 スマートフォンの仕事をこなす 172

Lesson 15**トラブル対処についての英語**

174

- 1 ネット会議システムの設定トラブル 174
- 2 Eメールのトラブルを説明する 176
- 3 プロジェクターの接続 178
- 4 should + 過去分詞で反省を表現 180
- 5 クレーム対応のゴールデンルール (2) 182

Lesson 16**グラフィックデザイン (2)**

184

- 1 ファイル形式について説明する 184
- 2 写真を編集する 188
- 3 ウェブ用グラフィックを制作する 190
- 4 more を使った比較表現 192
- 5 AB テストによるグラフィックデザインのテスト 194

Lesson 17**ウェブデザイン**

196

- 1 レイアウトの特徴を説明する 196
- 2 レイアウト修正を依頼する 198
- 3 ソースコードを修正する 200
- 4 代名詞 it を使いこなそう 202
- 5 ヒートマップでレイアウトを評価する 206

Lesson 18**プレゼンテーション**

208

- 1 表計算データについて説明する 208
- 2 パワーポイントでプレゼンテーション (1) 210
- 3 パワーポイントでプレゼンテーション (2) 212
- 4 プレゼンテーションに必要な表現とボキャブラリー 214
- 5 どうやってよりよいクリエイティブアイデアを生むか 218

Lesson 19**プロジェクト会議**

220

- 1 プロジェクトの進捗を確認する 220
- 2 上司と打ち合わせる 222
- 3 意見を述べる 224
- 4 get の意味とその用法について 226
- 5 ウェブ解析データに関する社内ミーティング (2) 230

Lesson 20

クライアント先での会議

232

- 1 デザインのプレゼンに臨む 232
- 2 デザインに関する意見交換 234
- 3 会議を締めくくる 236
- 4 「意思表示」に関する英語表現 238
- 5 ミーティングのファシリテーターって何ですか? 240

Lesson 21

交渉する

242

- 1 コンペに臨む 242
- 2 制作費について交渉する 244
- 3 要件定義について話し合う 246
- 4 英語の上達方法 (1) 248
- 5 クリエーターのための交渉戦略 252

Lesson 22

ソーシャルメディア

254

- 1 ソーシャルメディアについて説明する 254
- 2 ソーシャルメディアについて語る 256
- 3 モバイルメディアを利用する 260
- 4 英語の上達方法 (2) 262
- 5 ソーシャルメディアマーケティング 264

Appendix

267

- 1 単語イメージ学習法 267
- 理解度テスト 1 272
- 理解度テスト 2 273
- 索引 274

この本の目的と適切なトレーニング法

実践的メソッドを応用したレッスン

本書は、英語が苦手だけれど英会話の習得には強い意欲を持っているデジタルワーカーの方々に向けて執筆・編集しています。単に英語を学ぶポイントを集めているのではなく、著者が実際に米国留学において英会話スキルを修得するにあたって活用した3つのメソッドを基軸とし、ネイティブの英語を学べることを目的として各レッスンを構成しています。

各レッスンで体得できるメソッドは、主に「スラッシュリーディング」と「シャドウイング」です。実際にレッスンを開始する前に、まずはこれら2つのメソッドについて解説している序章を読んでもみましょう。メソッドの手法だけでなく、その狙いを理解することで、その後のレッスンでの学習もより効果的に進めることができるはずです。

各レッスンページでは、最初にさまざまなシチュエーションを想定したスキット（寸劇）を載せています。さらに、そのスキットでポイントとなる文法や慣用句事例なども解説しています。

また、各レッスンで重要となる文法などに関して、レッスン第4項にまとめてあります。スキットを読むだけでなく、文法などにも目を通しておくことで、英語に関する基本的な知識を深めることも狙っています。

さらに各レッスンの最後には、練習問題があります。練習問題にも取り組むことで、繰り返しレッスンを学んでいく中での修得度合を確認することができます。

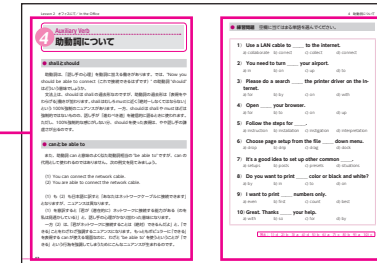
スキット(寸劇)

実際の場面(シーン)を想定した英語による会話を再現しています。英語を英語として理解するために重要なスラッシュリーディングができやすいように、英文・和文ともにあらかじめスラッシュを入れてあります。



スキットに続けて、ポイントとなる文法や慣用句事例などを解説しています。発音だけでなく、文法の確認や応用例などにも目を通しておきましょう。

各レッスンの第4項は、そのレッスンで重要となる文法を解説していたり、スキットで学んだ慣用句的な言い回しについての追加事例などを掲載しています。スキットだけでなく、これらにも目を通しておくことで、英語に関する基礎的知識を深めることができます。



同じ第4項に練習問題を掲載しています。練習問題に取り組むことで、ご自身の英語学習レベルを随時確認することができます。